

## 申し込み方法等

- ・別添の受講申込書に必要事項を記入のうえ、郵送、FAX又はEメールで申し込みください。
- ・申込者多数の場合は、各研修開始日の1か月前（前月の同日）の17時を期限として、初めて受講の方を優先の上、抽選で受講者を決定します。受講の可否については、研修開始日の3週間前を目処にお知らせします。（受講申し込みの状況によっては、上記期限後も申し込みをお受けすることもあります。申し込み可能かどうかは、電話・Eメール等でお尋ねください。）
- ・電話での申し込みはできません。

## 申し込み及び問い合わせ先

兵庫県こころのケアセンター研修情報課

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目3-2

TEL：078-200-3010 FAX：078-200-3017

Eメール：kensyu@j-hits.org

## その他

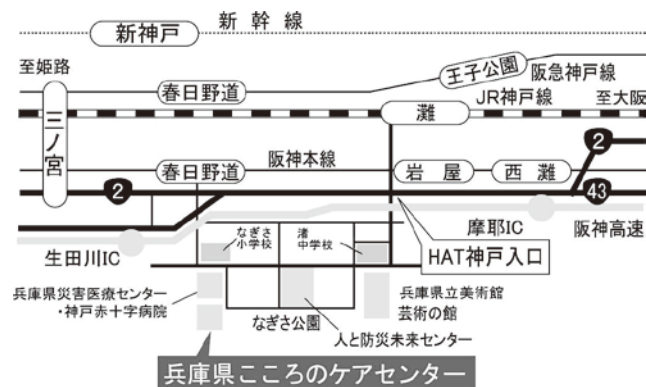
- ・「内容」等については、都合により一部変更となる場合があります。
- ・この研修は、現在対象となる職務に就いている方を対象としています。学生は対象とはなりません。（関連領域の大学院生を除く。）
- ・受講料（資料代等）は受講決定通知とともに送付する振込用紙にてお支払いください。振込手数料は申し込みをされた方にてご負担願います。
- ・受講料振り込み後にキャンセルされる場合は、研修開始日の1週間前までに限り、既に払い込まれた受講料を返金します。なお、返金に係る振込手数料は、キャンセルを申し出た方のご負担とさせていただきます。
- ・本センターには、宿泊室（1泊3、600円：食事無、トイレ・シャワー・テレビ共同）を設けています。遠隔地等から受講される方で、利用を希望される場合は、お問い合わせください。
- ・この「募集案内」については、本センターのホームページ（<http://www.j-hits.org>）でもご覧になれます。

## 今後のスケジュール（予定）

区分	コース名	定員	対象
第2期 （1月～3月）	消防職員のための惨事ストレスの理解と予防	35名	消防職員
	対人支援職のためのセルフケア	35名	保健・医療・福祉関係の対人支援業務従事者（保健師、ケースワーカー、各種相談員、福祉施設指導員等）、教職員、スクールカウンセラー、保育職員
	発達障害とトラウマ	35名	こども家庭センター（児童相談所）職員、福祉事務所職員等児童虐待関係職員、保健所職員、教職員、スクールカウンセラー、保育職員等
	子ども達のいじめのケアー加害と被害の連鎖ー	35名	教職員、スクールカウンセラー、教育委員会職員、こども家庭センター（児童相談所職員）、いじめ相談窓口の相談員、保育職員、児童福祉施設職員、司法関係職員
	消防職員のための惨事ストレスの理解と予防（ステップアップ）	25名	消防職員（過去に「消防職員のための惨事ストレスの理解と予防」を受講した者）

（注）上記のスケジュールは予定ですので、今後変更することがあります。

## 会場案内図



## ●交通案内

■阪神電鉄「春日野道」駅から南へ徒歩約8分

■阪急電鉄「春日野道」駅から南へ徒歩約16分

■JR神戸線「灘」駅から南西へ徒歩約25分

※お車でのご来所はご遠慮ください。

# 平成29年度兵庫県こころのケアセンター「こころのケア」研修 第1期受講生募集のご案内

兵庫県こころのケアセンターは、トラウマやPTSD等の「こころのケア」に関する研究や研修等を行う拠点施設です。

本センターでは、「こころのケア」に携わる保健・医療・福祉・教育等の分野で活動されている方を対象に、各種課題への対処法等について学ぶ「こころのケア研修」を実施しています。

このたび、7月から11月の間に実施する研修の受講生を下記のとおり募集します。

記

## 【第1期（7月～11月）実施分】

区分	コース名	期間	定員	対象	受講料 （資料等）	会場
専門 研修	①消防職員のための惨事 ストレスの理解と予防	7月12日(水) 13日(木) (2日間)	35名	消防職員	3,500円	兵庫県こころの ケアセンター  (神戸市中央区 脇浜海岸通 1-3-2)  ※阪神「春日野道」 駅から徒歩約8分
	②発達障害とトラウマ	8月3日(木)	35名	こども家庭センター（児童相談所）職員、福祉事務所職員等児童虐待関係職員、保健所職員、教職員、スクールカウンセラー、保育職員等	2,500円	
	③対人支援職のためのセルフ ケア	8月17日(木) 18日(金) (2日間)	35名	保健・医療・福祉関係の対人支援業務従事者（保健師、ケースワーカー、各種相談員、福祉施設指導員等）、教職員、スクールカウンセラー、保育職員等	3,500円	
	④DV被害者のこころのケ ア	9月20日(水)	35名	母子自立支援員、女性相談員（婦人相談員）、婦人保護施設職員、母子生活支援施設職員、家庭問題相談員、保健師、福祉事務所職員、こども家庭センター（児童相談所）職員等DV被害者相談支援関係職員	2,500円	
	⑤悲嘆の理解と遺族への支 援	9月27日(水) 28日(木) (2日間)	35名	医療・保健・福祉・心理臨床の分野で活動する者及び遺族支援に携わる者	3,500円	
	⑥被災者や被害者をささえる ためにーサイコロジカルフ ァーストエイドを学ぶー	10月5日(木) 6日(金) (2日間)	25名	学校・社会福祉協議会・保健師・病院等の精神保健福祉関係者	4,000円	
	⑦犯罪被害とこころのケア	10月12日(木) 13日(金) (2日間)	25名	保健・医療・福祉・教育・司法・警察・消防関係等職員	4,000円	
	⑧被害者や被災者の中長期の 回復を支えるこころのケ アーサイコロジカル・リカバ リースキル（SPR）ー	11月9日(木) 10日(金) (2日間)	35名	医師・臨床心理士・看護師・保健師・精神保健福祉士・その他関連領域の関係者	3,500円	
	⑨子どもの領域におけるトラ ウマインフォームド・ケ アートラウマを「見える化す る」支援を学ぶー	7月26日(水)	80名	保健・医療・福祉・教育・司法・警察・消防関係等職員	1,300円	

（注）「研修内容」については次頁を、「申し込み方法」等については、裏面をご覧ください。

## 研修内容

〈専門研修〉

### 【① 消防職員のための惨事ストレスの理解と予防】

日程	7月12日(水) 10:30~17:00 13日(木) 9:50~16:15	受講料(資料代等)	3,500円
内容	大規模災害時等、極めて悲惨な現場において活動したことにより生じる惨事ストレスに対する理解を深めます。 ・惨事ストレスとは(加藤寛センター長<医師>) ・事例検討(神戸市危機管理室:星野誠治危機対応担当課長、西宮市消防局:山下俊郎警防部長) ・ストレスマネジメント(大澤智子研究主幹<臨床心理士>) ・コミュニケーションの基礎(大澤智子研究主幹) ・演習(大澤智子研究主幹) 等		
定員・対象	35名:消防職員		
備考	受講の申込は各本部にて取りまとめの上、お申し込みください。		

### 【② 発達障害とトラウマ】

日程	8月3日(木) 10:30~17:00	受講料(資料代等)	2,500円
内容	発達障害とトラウマへの理解を深めます。 ・発達障害とトラウマをめぐる諸問題(亀岡智美副センター長<医師>) ・成人期の発達障害とトラウマ(大久保クリニック:大久保圭策医院長) ・学童期の発達障害とトラウマ(大阪大学大学院:酒井佐枝子准教授) 等		
定員・対象	35名:こども家庭センター(児童相談所)職員、福祉事務所職員等児童虐待関係職員、保健所職員、教職員、スクールカウンセラー、保育職員等		

### 【③ 対人支援職のためのセルフケア】

日程	8月17日(木) 10:30~17:00 18日(金) 9:50~16:15	受講料(資料代等)	3,500円
内容	対人支援業務によって生じる自らのストレスを理解し、その対処法を習得します。 ・ストレスとは(福井貴子主任研究員<臨床心理士>) ・ストレスマネジメント(大塚美菜子主任研究員<臨床心理士>) ・二次受傷とは(大澤智子研究主幹<臨床心理士>) ・演習(大澤智子研究主幹) 等		
定員・対象	35名:保健・医療・福祉関係の対人支援業務従事者(保健師、ケースワーカー、各種相談員、福祉施設指導員等)、教職員、スクールカウンセラー、保育職員等		

### 【④ DV被害者のこころのケア】

日程	9月20日(水) 10:30~17:15	受講料(資料代等)	2,500円
内容	DV被害者のこころのケアに関する対処法等について理解を深めます。 ・トラウマ・PTSDの理解(田中英三郎主任研究員<医師>) ・DV被害者との関わり方―被害者心理を踏まえて―(神戸市看護大学:高田昌代教授) ・DV家庭で育った子どもの心理的影響とそのケア(兵庫教育大学大学院:有園博子教授) 等		
定員・対象	35名:母子自立支援員、女性相談員(婦人相談員)、婦人保護施設職員、母子生活支援施設職員、家庭問題相談員、保健師、福祉事務所職員、こども家庭センター(児童相談所)職員等DV被害者相談支援関係職員		

### 【⑤ 悲嘆の理解と遺族への支援】

日程	9月27日(水) 10:30~17:00 28日(木) 10:20~16:30	受講料(資料代等)	3,500円
内容	死別を経験した際に生じる悲嘆反応の知識について学び、遺族への対応と治療の実際について理解を深めます。 ・悲嘆の基本的理解(関西学院大学:坂口幸弘教授) ・遺族対応の基本(甲南女子大学:瀬藤乃理子准教授) ・日常臨床でのグリーフケア(神戸赤十字病院:村上典子心療内科部長) ・複雑性悲嘆について(加藤寛センター長<医師>) ・遺族の体験に学ぶ(加藤寛センター長) ・子どもの悲嘆(田中英三郎主任研究員<医師>) 等		
定員・対象	35名:医療・保健・福祉・心理臨床の分野で活動する者及び遺族支援に携わる者		

### 【⑥ 被災者や被害者をささえるために―サイコロジカルファーストエイドを学ぶ―】

日程	10月5日(木) 10:30~17:00 6日(金) 9:30~16:45	受講料(資料代等)	4,000円
内容	万が一の大災害や大事故で被害を受けた人たちに対して、直後に行える介入としてのサイコロジカルファーストエイドの基本についての理解を深めます。 ・「こころのケア」とは(田中英三郎主任研究員<医師>) ・災害時の支援受入調整の現状と課題(人と防災未来センター:高田洋介主任研究員) ・サイコロジカルファーストエイド(大澤智子研究主幹<臨床心理士>) ・施設見学(人と防災未来センター) 等		
定員・対象	25名:学校・社会福祉協議会・保健師・病院等の精神保健福祉関係者		
備考	人と防災未来センターとの共催により実施。		

### 【⑦ 犯罪被害とこころのケア】

日程	10月12日(木) 10:30~16:45 13日(金) 9:50~16:45	受講料(資料代等)	4,000円
内容	犯罪(事件・事故)被害の及ぼす心理的影響を理解し、被害者支援の観点に立った、犯罪被害者への対処法を習得します。 ・被害者・遺族の心理的影響(田中英三郎主任研究員<医師>) ・警察による被害者支援(兵庫県警察本部 被害者支援室:藤川真実室長) ・民間支援のあり方(ひょうご被害者支援センター:遠藤えりな支援コーディネーター) ・被害者・遺族の声を聞く ・グループ討議(ひょうご被害者支援センター:遠藤えりな支援コーディネーター、田中英三郎主任研究員)等		
定員・対象	25名:保健・医療・福祉・教育・司法・警察・消防関係等職員		

### 【⑧ 被害者や被災者の中長期の回復を支えるこころのケア―サイコロジカル・リカバリースキル(SPR)―】

日程	11月9日(木) 10:00~16:55 10日(金) 9:50~16:20	受講料(資料代等)	3,500円
内容	「サイコロジカル・リカバリースキル(SPR)」はアメリカで開発された、災害復興期における被災者の回復を支えるための心理支援法です。被災者が苦痛をやわらげ、災害後のストレスやさまざまな困難にうまく対処するためのスキルを身につけられるよう、構成されています。日本唯一のSPR認定トレーナーが演習を交えながら適切な「こころのケア」のスキル習得を目指します。 ・SPRの概要(大澤智子研究主幹<臨床心理士・SPR認定トレーナー>) ・スキル1~6(大澤智子研究主幹) 等		
定員・対象	35名:医師、臨床心理士、看護師、保健師、精神保健福祉士、その他関連領域の関係者		

〈基礎研修〉

### 【⑨ 子どもの領域におけるトラウマインフォームド・ケア～トラウマを「見える化する」支援を学ぶ～】

日程	7月26日(水) 10:15~17:00	受講料(資料代等)	1,300円
内容	こころのケア(子どものトラウマ)に関する全般的な基礎知識を習得し、理解を深めます。 ・トラウマインフォームド・ケアの基礎(亀岡智美副センター長<医師>) ・トラウマインフォームド・ケアの実践(山本沙弥香主任研究員<臨床心理士>、大塚美菜子主任研究員<臨床心理士>) ・児童虐待とトラウマインフォームドケア(大阪府中央子ども家庭センター:島ゆみ総括主査) 等		
定員・対象	80名:保健・医療・福祉・教育・司法・警察・消防関係等職員		